

資源集団回収を活用しましょう

市では、家庭から出る資源物の有効活用と、ごみの減量対策の一つとして資源集団回収を推進しています。
資源物の集団回収に皆さんのご協力をお願いします。

【問い合わせ】▷本館生活環境課(☎24-2111内線266)
▷各総合支所市民生活係(大迫☎48-2111内線147、石鳥谷☎45-2111内線221、東和☎42-2111内線233)



■資源集団回収とは

地域の皆さんが自主的に協力し、日時や場所を決めて資源物を回収。それらを資源回収業者に引き渡すことで売却金を受け取る制度です。

※詳しい内容は、各家庭に配布している「ごみ分別大辞典」に掲載しています。同辞典は上記問い合わせ窓口でも配布しています

■資源物の種類と排出時のポイント

資源物は、大きく「紙類」「びん類」「金属類」「布類」の四つに分類されます。
各家庭から排出する際は、下記のポイントに留意

種類	排出時のポイント
紙類	新聞紙・折り込みチラシ 紙ひもで縛る。黄ばんだものは雑誌としてまとめる
	ダンボール 宅急便の伝票やテープなどは外し、平らに畳んで紙ひもで縛る
	雑誌・雑紙 本やノートは紙ひもで縛る。細かい雑紙は紙袋などにまとめる ※雑紙として出せない「禁忌品」があります
	牛乳パック 洗って広げ、乾かしてから紙ひもでしばる
びん類	一升瓶(茶色・緑色) ビール瓶 水ですすぎ乾かす
金属類	鉄くず 自転車やトタン、鍋など。金属部分以外はなるべく外す
	スチール缶 水ですすぎ乾かす
	アルミ缶 水ですすぎ乾かす。缶をつぶさないで出す
布類	綿製品など 洗濯し乾かす

きんき
*禁忌品(資源にならない紙)の例

- 昇華転写紙(アイロンブ rint紙)
- カーボン・ノーカーボン紙(宅配便の伝票など)
- かばんなどに入っている詰め物(緩衝材)
- 感熱性発泡紙(点字用紙など)
- 感熱紙(レシートなど)
- 印画紙(写真など)
- においの付いた紙(洗剤や線香の包装箱など)
- 防水加工されている紙(紙コップ・紙皿など)
- 汚れた紙(食品の残りかすや油が付いた紙、使用済み半紙など)
- 箔押しされた紙(金紙、銀紙、アルミコーティング紙など)
- シールや粘着テープ
- 圧着はがき(請求書など)

きんき
禁忌品が資源物に混入すると、リサイクル品の品質低下などにつながります。これらを排出する場合は、燃やせるごみとして出してください



花巻市オリジナル婚姻届をご利用ください

市では、婚姻を通して花巻への親しみと愛着を深めてもらおうと、イラスト入りのオリジナル婚姻届を作成しました。

婚姻届の絵柄は和洋各2種類。地域おこし協力隊の塩野タ子隊員、佐藤真衣子隊員、岡田芳美隊員が中心となってデザインしました。

花巻ゆかりのイラストがデザインされた婚姻届で、お二人の門出を祝います。

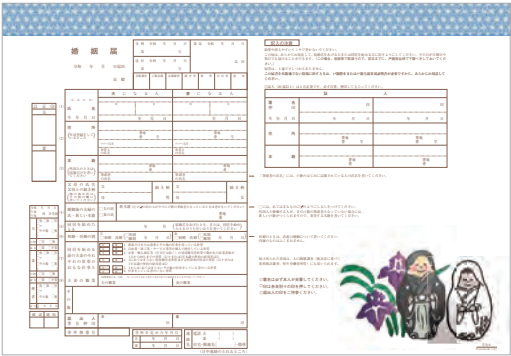
※既存の婚姻届用紙も使用できます。不備がある

場合は不受理(返却)となることがありますので、平日窓口での事前審査をお勧めします

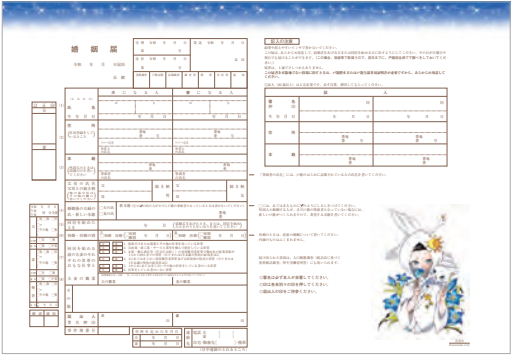
■配布場所 本館市民登録課、各総合支所市民サービス課で配布するほか、市ホームページに掲載しています

※市ホームページからダウンロードし使用する場合は、A3サイズで印刷してください

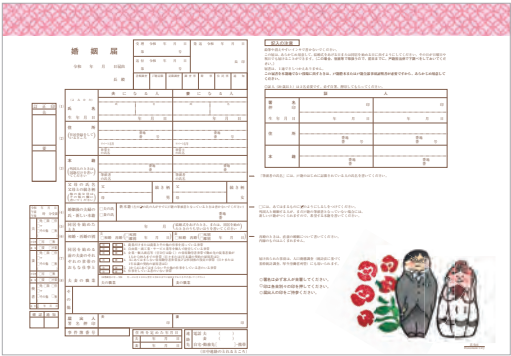
■問い合わせ 本館市民登録課(☎24-2111内線294)



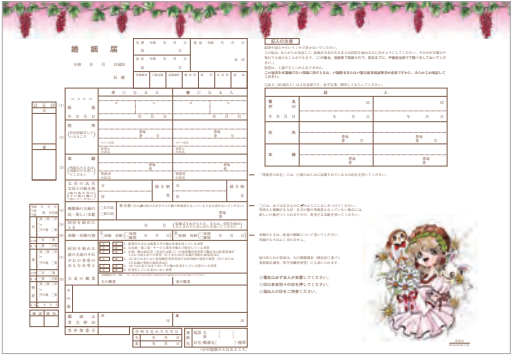
花巻人形をモチーフに、旧東和町の花「アヤメ」をデザイン



賢治作品をモチーフに、花巻ブルーの一つ「リンドウ」をデザイン



花巻人形をモチーフに、賢治ゆかりのバラ「グルス・アン・テブリッツ」(和名:日光)をデザイン



賢治作品をモチーフに、市の花「ハヤチネウスユキソウ」とブドウをデザイン



令和元年台風19号災害 岩手県災害義援金を支給します

【問い合わせ】
新館地域福祉課(☎24-2111内線593)

昨年10月に発生した台風19号の被災者に対し、災害義援金が支給されます。

■交付要件 発災時に被害を受けた住宅に住民登録または居住実態があり、市から住家のり災証明を得た人

■申請方法 申請書に必要事項を記入の上、新館地域福祉課または各総合支所健康福祉係に提出

※交付要件に該当する人には申請書を送付しています

■被害区分および支給金額

	被害区分	支給金額
住宅被害	一部損壊(準半壊) 床上浸水	30,000円
	一部損壊(10%未満) 床下浸水	15,000円



花巻市シニア大学新入生を募集します

年間を通して趣味や教養、地域の魅力を学びます。さらに全体学習として球技大会や運動会、移動研修などのイベントも開催。仲間づくりをしながら、楽しいキャンパスライフを送りませんか。

■対象 60歳以上で、年間を通じてまなび学園に通学できる人

※年齢は令和2年4月1日現在

■会場 まなび学園ほか

■定員 30人(抽選)

■学習日数 約18日/年

■参加料 無料(教材費や見学科、昼食代などは自己負担)

■申込期限 3月19日(木)

■問い合わせ・申し込み まなび学園(☎23-4234)